

MARVIN ZONIS

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Professor Emeritus, the University of Chicago, Booth School of Business



Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Leadership
- Motivation
- Politics

ビジネススクールでは、デジタルテクノロジーがグローバルビジネスに与える影響についてのコースを教えた最初の教授でした。彼はまた、世界中の企業や専門の資産運用会社に相談して、変化する地球環境における彼らの政治的リスクの特定、評価、および管理を支援します。

Marvinは、世界の保険および金融サービス会社であるCNA Financialの取締役会のメンバーであり、世界的な技術コンサルティング会社であるOmniPoint USLLC 以前前のDiamond Consultantsのフェローです。彼は、GAOの米国法務長官顧問委員会のメンバーであり、シカゴの精神分析研究所の委員会のメンバーです。彼は、パリのFondation Etats Unisの理事会のメンバーであり、ロンドンのQueen Mary Universityの経営管理センターの顧問も務めています。

これらの活動を結びつけるものは、政治、経済学、創発的技術、心理学の交差点に対するマーヴィンズ独自の認識です。彼は、世界的な経済の衰退が屈辱、不安、そして不信感を広める感情を生み出すと主張しています。それらは、順番に、広範囲にわたる政治的不安定性を生み出すでしょう。政府は打倒され、それらの国々の経済の衰退は加速し、外国投資は他の投資可能な国を模索し、長期的な経済成長を鈍化させるでしょう。経済衰退の世界では、テクノロジーが下方スパイラルを増大させる一方で、経済的には、クロスボーダーの資金フローや低コスト国へのビジネスアウトソーシングなどが衰退し始めており、これが世界経済の衰退の原動力となっています。不安定さと屈辱、それが怒りを駆り立て、テロリズムの新兵を増やします。これらの世界的な経済的、政治的、財政的課題、ビジネスのリーダーシップ、そしてリーダーシップを定義するものについての真の理解は、これまで以上に重要です。

マーヴィンは中東の主導的な権威であり、そしてイスラーム、テロリズム、そして中東の不安定な混合を研究するために過去50年近くを費やしてきました。彼はシカゴ大学の中東研究センターの元所長であり、アメリカイラン研究所の前会長でもあります。彼は1960年代にアフガニスタンを通してヒッチハイクしてイランに住んでいて、1964年からイラクでイスラム教を学び、そして同様にこの地域の他の地域中を広く旅してきました。

彼の著書は、とりわけ、フィナンシャルタイムズ、ニューヨークタイムズ、インターナショナルヘラルドトリビューン、チーフエグゼクティブマガジン、ラヴァンガーディア、ポストグローブ、そして日本の日経週刊誌に掲載されています。彼の最新の著書は、リスクルール：地方政治がいかに世界経済を脅かしたか（2011年5月）です。彼の他の本はキムチ問題を含みます：危機主導の世界におけるグローバルビジネスと地方政治。東ヨーロッパの機会雄大な失敗：シャアの崩壊。ホメイニとイランイスラム共和国。イランの政治エリート。

彼は数多くのネットワークテレビニュース番組に出演し、ABC / Capital Citiesテレビの中東コンサルタントでした。彼はエール大学、ハーバードビジネススクール、マサチューセッツ工科大学で学び、そこで博士号を取得しました。政治学、およびシカゴの精神分析研究所で、精神分析の訓練を受けました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988